

平成29年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	非公募	
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	36,693,270円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室1、和室1、和室2、体育室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室1、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

		H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期
(1)岐阜市北青少年会館						
利用者数(単位:人)		12,188	12,327	13,050	12,813	12,936
各室稼働状況(%)	研修室1	22.8	47.6	32.9	39.3	28.4
	研修室2	13.2	23.9	16.2	24.3	16.1
	講義室	42.1	42.5	46.6	47.0	45.0
	体育室	78.6	85.5	88.3	83.7	77.2
	屋外コート	33.4	47.4	53.5	51.3	48.1
(2)岐阜市青山青少年会館						
利用者数(単位:人)		10,007	7,241	8,162	6,850	7,689
各室稼働状況(%)	会議室1	7.3	14.6	20.2	11.3	7.0
	和室1	13.4	6.2	4.0	6.9	10.7
	和室2	4.9	8.9	11.3	9.2	11.0
	体育室	68.3	57.0	40.2	59.3	57.4
	屋外コート	22.9	6.5	8.5	8.7	3.9
(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム						
利用者数(単位:人)		8,529	7,386	8,427	7,395	7,763
各室稼働状況(%)	研修室1	49.3	48.0	52.9	55.4	59.7
	料理実習室	24.8	24.5	26.7	18.8	31.2
	体育室	72.4	64.5	71.0	68.5	70.4
(4)岐阜市東青少年会館						
利用者数(単位:人)		8,137	10,405	12,008	12,167	11,965
各室稼働状況(%)	研修室1	53.4	52.3	56.2	39.9	37.4
	研修室2	58.4	54.5	57.7	47.2	47.0
	談話室	70.6	72.0	76.7	56.7	52.1
利用者数合計(単位:人)		38,861	37,359	41,647	39,225	40,353

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 嘱託職員 4人 臨時職員 12人（全16人のうち教員資格保有者 11人） ③広報誌ふ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況： 利用者数 38,861人 （前年度同期 41,647人） 利用団体数 2,538団体 （前年度同期 2,752団体） ②講座事業 ・夏期少年講座： 40講座開催 参加者 844人 （定員 740人 応募者 878人） ※自主事業 ・春講座（新規）： 8講座開催 参加者 115人 （定員 154人 応募者 171人） ・親子わくわく講座： 14講座開催 参加者 119家族251人 （定員 137家族274人 応募者 213家族436人） ・岐阜キラメキ講座： 20講座開催 参加者 385人 （定員 387人 応募者 558人） 講座事業総計： 82講座 参加者 1,595人(9講座56人増) （定員 1,555人 応募者 2,043人） ③相談事業 ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 上半期相談件数： 69件 ・子ども会サポートプラン 上半期相談件数： 32件(活動実施数 10件 292人) ④学習拠点支援事業 ・小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 上半期利用者数： 2,120人 ・サタデースクール（東青） 上半期利用者数： 79人
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③ねずみ、害虫等の防除等	①日常清掃：臨時職員による清掃を期間中日常的に実施。 定期清掃：再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。 ②職員による日常点検：開館日に職員が出勤時と退勤時に安全点検を実施。 機械警備：再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。 ③敷地内の樹木剪定を職員で行う。 害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。 その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。

<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。 ・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。 <p>修繕実績(業者による対応)</p> <table border="0"> <tr> <td>東青少年会館</td> <td>スチール書庫ガラス修理</td> <td>6,156円</td> </tr> <tr> <td>青山青少年会館</td> <td>テニスコート側溝修理</td> <td>118,800円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>テニスコート排水管修理</td> <td>108,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>階段踊り場常備灯交換(LED化)</td> <td>4,320円</td> </tr> </table> <p>全4件実施</p> <p>○職員による主な修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育室床ワックスがけ(北青・青山・ルーム) ・施設内樹木・植栽の剪定、除草(4館) ・害虫駆除(北青・青山) ・駐輪場床面ペンキ塗布補修(北青) ・多目的トイレアコーディオンカーテン補修(北青) ・臨時駐車場除草(北青) ・体育室・談話室網戸補修(青山) ・談話室ドアクローザー交換(青山) ・駐車場整地・補修(青山) ・非常階段タイル補修(ルーム) ・グリーンカーテンの設置(ルーム) ほか 	東青少年会館	スチール書庫ガラス修理	6,156円	青山青少年会館	テニスコート側溝修理	118,800円		テニスコート排水管修理	108,000円		階段踊り場常備灯交換(LED化)	4,320円
東青少年会館	スチール書庫ガラス修理	6,156円												
青山青少年会館	テニスコート側溝修理	118,800円												
	テニスコート排水管修理	108,000円												
	階段踊り場常備灯交換(LED化)	4,320円												
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施 ・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定 ・個人情報保護担当者を配置 ・「個人情報保護宣言」表示を継続 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) ・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。 												

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体(代表者)に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>③「ご意見箱」の設置と「あと一声運動」による聞き取り調査(施設利用者・来館者個人)を継続。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」 2,123件 初めて:56件 2.6% 複数回:2,067件 97.4% 「全体の満足度について」 2,093件 大変満足:60.7% 満足:37.2% 普通:2.1% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (97.9%) 「施設設備について」 2,050件 大変満足:61.3% 満足:36.3% 普通:2.2% 不満:0.1% 大変不満:0.0% (97.6%) 「職員の対応について」 2,093件 大変満足:63.2% 満足:34.8% 普通:2.0% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (98.0%)</p> <p>【主な意見】 「職員の対応が親切丁寧で気持ちよく利用しています。」(4館 同様の声多数) 「扇風機があって涼しく練習できた。」(北青) 「部屋がきれい。清掃が行き届いている。」(東青) 「部屋が広くてエアコンもよく効き、快適でした。」(青山) 「庭園の緑のカーテンを見ると涼しく感じる。」(ルーム) その他感謝の声多数</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しなかった・⑤全然楽しなかった)</p> <p>■夏期講座: ◆少年講座 「講座は楽しかったか」 初めて参加:265件 ①:82% ②:15% ③:3% ④:0% ⑤:0% (97%) 複数回参加:414件 ①:85% ②:12% ③:3% ④:0% ⑤:0% (97%) ◆岐阜キラメキ講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」 初めて参加:153件 ①:84% ②:14% ③:2% ④:0% ⑤:0% (98%) 複数回参加:163件 ①:81% ②:15% ③:4% ④:0% ⑤:0% (96%) ◆親子わくわく講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」 初めて参加:58件 ①:85% ②:15% ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%) 複数回参加:105件 ①:85% ②:14% ③:1% ④:0% ⑤:0% (99%)</p> <p>【主な意見】 ・「子どもが化石に興味を持ってくれてよかった。」(北青:実物から学ぶ化石教室) 「シャツやスカートを作る工程が楽しくて自分なりのアレンジができた。」(東青:小さな服を額に飾ろう) 「レシピを見て英語を学べたし料理も美味しかった。」(東青:英語でクッキング) 「弾きたかった琴を弾けてうれしかった。」(青山:初めての琴) 「家でも作ってみたい。」(ルーム:美味し焼ききたてパンづくり) 「講師の先生が分かりやすく丁寧に教えてくれた。」(多数)</p> <p>■春講座(自主事業 岐阜市信長公450プロジェクト関連事業): 「講座は楽しかったか」 初めて参加:16件 ①:90% ②:7% ③:3% ④:0% ⑤:0% (97%) 複数回参加:84件 ①:77% ②:21% ③:2% ④:0% ⑤:0% (98%)</p> <p>【主な意見】 「礼儀や打ち方を教えてもらえて楽しかった。」(北青:スポーツチャンバラ) 「ウナギを捌くところが見られてとても貴重な体験ができた。」(東青:信長御膳に挑戦) 「ビーズで鮎を作ることができて面白かった。」(青山:ビーズで長良川の鮎を作ろう) 「子どもでも無理なく作れるよう準備してありよかった。」(ルーム:鮎菓子づくり) 「講師の先生が分かりやすく丁寧に教えてくれた。」(多数)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積りを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】 ・「暑い日の体育室利用はつらい。」 ⇒大型扇風機を設置した。また熱中症対策として空調の効いた空き部屋を休憩室として開放した。 ・「敷地内でハチが見られる。」 ⇒ハチの営巣防止のため草刈りを実施した。 ・「コートブラシのねじ、ネットの一部が外れている。」 ⇒直ちに職員が確認し、補修・調整を行った。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	A	A	A
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報誌ふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	A	A	A
		(3)個人情報保護のための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(4)その他応募者の提案によるもの		A	A	A
	区分評価					A
効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	S	S
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	A
		(3)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	A	A	A
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	A	A	A
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	A	A	A
		(7)その他応募者の提案によるもの		A	A	A
区分評価					A	
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	A	A	A
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(3)管理経費縮減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
区分評価					A	

安定性 安全性	IV事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(2)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	C	C
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	A	A	A
		(4)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	A	C	C
		(5)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策、利用者の安全確保策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	A
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	A	A	A
		(8)その他応募者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
貢献性	V事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	A	A	A
		(5)その他応募者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	<p>(Ⅱ-①)</p> <p><u>1 講座事業</u> ・5月に小中学生及びその保護者を対象に新規事業「春講座」(岐阜市信長公450プロジェクト関連事業)を8講座実施しました。115人が参加し、参加者からの事業満足度が97%と高い評価を得ることができました。 ・上半期の講座は「春講座」「夏期講座」合わせて82講座を実施し、1,595人の参加がありました(対前年度比9講座56人増)。両講座の平均事業満足度は97%と高い評価を得ることができました。 ・新規講座の実施や講座数の増加が、少年利用が増加した大きな要因の一つと捉えています。(対前年度同期比で553人増)</p> <p><u>2 相談事業</u> ・上半期は69件の相談に対応しました。「子ども・若者見守り運動」の具体例では、東青少年会館で高1女子のいじめ相談に対応(平成28年8月から本年度まで継続して29回対応)しました。教員OBとしての経験を活かしたきめ細かな対応をとり、また学校の養護教諭とも密に連携を取りながら長期にわたり取り組んだ結果、学校生活における問題の解決に寄与することができました。</p> <p><u>3 学習拠点支援事業</u> ・学習ルームは上半期に2,120人の利用があり、多くの児童生徒、青年に対して学習の場を提供するとともに、空き部屋の有効活用に努めました。 ・「サタデースクール」は上半期に79人の利用があり、月平均の利用は13.2人(対前年度比4.6人増)となりました。</p> <p><u>4 活動拠点支援事業</u> ・「子ども会サポートプラン」では32団体からの相談に対応し、うち5団体71人の会館利用がありました。会館の利用促進にも繋げるとともに、地域子ども会の活性化に寄与することができました。</p> <p><u>5 連携事業</u> ・若者支援対策では、中央青少年会館及びエールぎふと連携しながら下記の取り組みを行いました。 ①会館の設備や備品に関する調査を実施し、中青及びエールぎふと情報を共有。 ②各会館が地域の引きこもりの若者の「居場所・受け皿」となるのに適しているかについて、エールぎふ職員と施設設備や会館職員(勤務体制や教員経験者数など)に関する情報を共有(エール職員の現場視察受入れも対応)。 ③中青主催の「若者チャレンジアップ事業開設講座」に会館職員が参加。 ④青少年ルームが相談活動を続けている若者に対し活動場所を提供(アウトリーチ的活用のサポート)。</p> <p>・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。</p>
------------------	--

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○所管課の意見 (利用者の増減について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数については、青山青少年会館以外の会館において減少しており、全体的にも、前年度下半期の39,225人から37,359人と4.8%減少している。しかし団体の利用としては微増していることや、青少年の割合もほとんど変化がないことから、大きな問題はないと考えられる。新しい意欲的な講座を開設したり、チラシを地元小学校へ依頼したりするなど、周知に向けた努力も継続しており、利用者増加に向けた取り組みを着実に実施していることを評価する。 (Ⅱ-1)(Ⅱ-4) ⇒全体の利用は減少しましたが、少年利用は新規事業「春講座」の実施や青山・ルームにおける少年団体の利用増により、対前年度同期比で553人の利用増となりました。 <p>(今後の方針について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市や岐阜市教育委員会の方針をよく理解し、それに沿った講座を新設していることや、チラシを地元小学校へ依頼するなど、新規利用者を増やそうと努力を継続していることは評価できる。今後もこれに満足せず、時代や利用者ニーズを把握した事業に尽力していただくことを期待する。また、会館の組織規模において無理のない範囲で、青少年への声掛けや見守り、相談についても、教育委員会と連携をとりながら、熱意を持って取り組んでいただきたい。 (Ⅱ-1)(4) ⇒中青及びエールぎふと連携により、若者支援を行う上で必要な情報(各施設の設備や備品など)の共有、研修会への参加、施設のアウトリーチ的活用に取り組みとともに、児童生徒の利用者に対し、職員が声掛けや見守りを行うことで、施設が青少年の「居場所」となるよう取り組みました。 <p>○評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域の利用者数が減っているが、これは人口減少や人口構成の変化によるところが大きく、管理上の問題ではない。利用団体数が増えているのは良い傾向である。 (Ⅱ-1)(4) ⇒上半期の利用人数は減少となりましたが、新規事業「春講座」の実施や少年団体の利用増により、青山及びルームの利用は対前年度同期比で1,947人の利用増となりました。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習拠点支援事業について、利用者数が増えていることから、始めたことが結果につながっているので積極的に進めてほしい。 (Ⅱ-1)(4)(Ⅳ-3) ⇒学習ルーム事業は、対前年度同期比で794人の減となっていますが、職員が近隣の学校に出向き直接紹介・説明を行ったり、児童生徒にチラシを配布したりしたことで、リピーターが増えつつあります。また、東青で実施している「サタデースクール」は、月平均の利用者が13.2人(平成28年度は8.6人)と増加しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の低い場所は、特定の部屋を常時開放し、支援設備を整え勉強部屋とするなど、環境を整えて欲しい。また、地域の協力を得て使わなくなった参考書等の寄付を受けるなど、お金をかけずに工夫して稼働率を上げられれば素晴らしい。 (Ⅱ-1)(4)(Ⅳ-3) ⇒全4館では学習ルームとして空き部屋を有効利用していただいています。また東青少年会館では、毎週土曜日の午前に談話室を「サタデースクール」として児童生徒に開放し教員免許を持った職員が必要に応じて指導を行うなど、子どもたちの「学習の場」「居場所」として運用しています。また、「サタデースクール」については、他館でも実施できないか検討しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・居場所がなくなったと感じた子が、青少年会館で過ごすことで、勉強したり友達ができたりすると良い。高校生を対象にすると良いと思う。 (Ⅱ-1)(4)(Ⅳ-3) ⇒平成29年度上半期は、昨年度から高校生のいじめ相談を職員が継続して対応しています。その結果、高校生に友人ができて明るい学校生活が送れるようになっています(現在も継続して対応中)。また、青少年ルームでは若者支援の取り組みとして中青・エールぎふとの連携により相談活動を続けている生徒に対し、活動場所を提供する「アウトリーチ的活用」に取り組みました。
<p>今後の取組み</p>	<p>(Ⅱ-1)(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去のアンケート結果から参加者のニーズを分析し、「冬期講座」の充実を図ります。 <p>(Ⅱ-1)(4)(Ⅳ-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央青少年会館及びエールぎふと密に連携を取りながら、例えば「アウトリーチ的活用のサポート」といった、施設として可能な範囲での若者支援に努めます。 <p>(Ⅱ-1)(Ⅳ-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者や地域の学校に直接働きかけを行うことで、学習ルームの利用の拡大を図ります。 ・「サタデースクール」について、東青少年会館以外でも拡大して実施します。 <p>(Ⅱ-1)(4)(Ⅴ-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども会サポートプラン」を継続して実施し、地域の子ども会活動の活性化を支援します。 <p>(Ⅰ-1)(Ⅴ-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハートプラスマーク」の表示や「コミュニケーション支援ボード」の設置を行い、さまざまな立場の利用者に対し利便性の向上に努めます。

●所管課の意見

○ 利用者の増減について

	H28上半期	H29上半期	対前年度比	(比率)
全利用人数	41,647人	38,861人	△2,786人	△7%
団体	2,752団	2,538団	△214団	△8%
青少年利用人数	22,910人	22,039人	△871人	△4%
団体	1,571団	1,494団	△77団	△5%
少年利用人数	18,213人	18,766人	553人	3%
団体	1,133団	1,157団	24団	2%
青年利用人数	4,697人	3,273人	△1,424人	△30%
団体	438団	337団	△101団	△23%

少年の利用人数・団体数は増加しているが、子ども会サポートプランの内容が充実しており、少年利用の需要はまだあると思われるため、今後は4館全てにおいて広報に力を入れるとよい。

また青年の利用人数・団体数がかなり減っていることから、その分析を行い、青年の利用に向けた方策を検討する必要がある。

○ 評価と今後の方針について

既存業務に飽き足らず、新規に春講座を創設したり、岐阜市や岐阜市教育委員会の意図に沿った講座等を引き続き実施するなど、特に講座に対する尽力を高く評価する。これにより、前年度同期に比べ9講座が増加、結果56人の利用者が増え、受講者の満足度も高水準を保っていることから、利用促進に効果があるものと思われる。

また相談業務についても、教員等の経験、知識、人脈を活かし、青少年の悩みに寄り添う事例も見られ、評価できる。職員数やローテーションの関係上、全ての悩みに対応することは難しい面があるが、今後も中央青少年会館やエールぎふと連携しながら、4館全てにおいて、青少年の利用者に注意を払い続けてほしい。

一方で、平成29年度上半期に、人員配置が十分でないことから利用者に不都合な思いをさせたため、今後のスタッフ配置については十分留意していただきたい。

また、ベテランの元教員を職員に起用し、能力を活用する一方で、館の役割や使命についての認識の薄さが窺える言動が多々あるため、就任直後の職員に対する研修を行う等、早急な改善を求める。

●指定管理者評価委員会の意見

- 青年の地域の組織というものが皆無になってきているので、サークル的な1つの目的を同じくするグループを育てていくことを考えなければならない。何か青年に魅力のある講座的なもので呼び込むものが欲しいと感じる。
- 青山青少年会館の和室の稼働率が低く、何らか検討しないともったいないと感じた。

